



東北小だより

開校57年目

新座市北野3-1-1 TEL 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

令和7年度9月号
全児童数 786名



あきらめない気持ちを育む2学期に

～ 美しく 温かく 常に前進 東北小学校 ～

校長 斉藤 直之

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。夏休み中は、家族や友達と楽しい時間を過ごしたり、自分の好きなことに挑戦したりと、充実した日々を送ることができたのではないのでしょうか。新しい学期を迎え、学校には子供たちの元気な笑顔が戻り、活気があふれています。

2学期は、学習や行事がさらに充実する時期です。運動会や音楽発表会など、仲間と協力しながら目標に向かって頑張る行事が続きます。また、授業では新しい内容に挑戦し、自分の力を伸ばしていく大切な時間となります。

この2学期、私が特に大切にしたいのは「あきらめない気持ちを育むこと」です。学校では、一人一人個性のある児童が日々、勉強に、運動に取り組んでいます。もちろん、まだ発達途中の小学生ですので、苦手なことがあれば、不安におもうことがあっても当然のことと言えます。だからこそ、学校で行う教育活動を有機的に結び付け、一つ一つの活動に、より多くの意義をもたせることで、苦手なことにも前向きに取り組ませたいと考えています。

本校では、授業における学習過程の各場で、学びを充実させようと研究を進めていますが、その中でも特に、導入部分を重要視しています。個別の学びに時間を充てようとするれば、導入部分は短くしたいものですが、導入で丁寧に動機づけをしなければ、子供たちはやる気もてませんし、見通しも立たないこととなります。これでは、あきらめない心など、到底身に

付くことはできません。そこで、本校の授業では「楽しそうだな、やってみよう」や「よし、やるぞ」といった気持ちをいかに授業の最初にもたせるのかを大切にしています。しかし、毎回、同じ導入をしていけば、子供たちが飽きてしまうこともありますので、より多くの引き出しが必要となります。そうなる、教える側である教師のファシリテートが求められることとなりますので、2学期は、教師力アップを目指し、実践的な研究を進めていけるよう、努めてまいります。

また、より大きな効果につなげるため、学校と連動して「あきらめない気持ち」を育むことを家庭でも実践していただければと思います。家庭学習の習慣は、身に付いているでしょうか。本校では「ひとべん」という取組を進めています。これは子供たちが家庭で自主的に学習する習慣を育てるためのものです。日々の学習の中で「今日のめあて」を決め、それを達成することで自信をつけ、繰り返していく中で、あきらめない気持ちも育まれていきます。この活動は、保護者の皆様の励ましや見守りがあってこそ成り立つものです。ぜひ、子どもたちが学ぶ姿を温かく見守り、時には一緒に楽しみながら支えていただければ幸いです。

私たち教職員は、2学期も子供たち一人一人が安心して、あきらめない気持ちで学校生活を送り、教員も子供たちも笑顔があふれる学校、「美しく 温かく 常に前進」できる学校を目指して、教育活動を推進してまいります。

ご協力をよろしくお願いいたします。